

福祉環境常任委員会

希望がかなう園児たち

認可外保育施設真壁愛児園が19年3月末日をもって廃止されることとなったため、保護者から保育園に入れなくなるという苦情が市に寄せられ、そのため福祉環境常任委員会で真壁保育園の定数増等について、よりよい方向性を見出すために3回の審議を重ねました。



真壁保育園

審議の概要については、次のとおりであります。平成18年11月に真壁保育園の入園申し込みを締め切った結果、246人の入所希望があり、そのうち196人を入所承諾として、50人を入所不承諾としました。

これについて市は、入所不承諾者の家庭を訪問し、やまと保育所、岩瀬保育所、及び真壁幼稚園に入所可能であることを説明し、そのうち28人がそれらに入所する了解を得、残りの22人については自宅等で保育するとの了承を得ました。しかし、1月末に、真壁保育園の定数増を求め、真壁保育園父母の会より4,890人の署名を添えて、市長に要望書の提出がありました。そのため、福祉環境常任委員会としましては、保護者、園児のことを考慮し、全員が入園できるよう定数について、柔軟な対応をとるよう保健福祉部に申し入れいたしました。市は分園を認め、全員入園できるようになりました。以上が審議の経過概要であります。

文教常任委員会

統合問題委員会の設置を希望する

2006年12月26日、真壁庁舎において文教常任委員会が開催され、大和中学校の改築問題を中心に、市内小中学校全般の統合問題について審議をいたしました。

大和中学校については、将来の少子化に対応可能な校舎の改築を進めていただくことを基本とするように要望するとともに、少子化による就学児童生徒の減少化傾向が見込まれる中、桜川市のすぐれた教育環境において効率的な学校運営を図るべく、将来における学校のあり方を展望し、望ましい統合再編を見出していくために、桜川市に小中学校統合問題検討委員会を設置することを強く要望いたしました。

これに対して石川教育長から「大和中学校は将来的に統合問題に対応しうる校舎にする方向で進める」ま

た統合問題に関しても、統合問題検討委員会を設置し、学識経験者、地区住民、保護者、学校関係者等の皆様のご意見を十分にお聞きしながら、通学区の見直しを含めた形での検討を進めたいという回答をいただきました。



大和中学校基本設計図

閉会中の 審査報告

□□□■□□□◆□□□□
■□□□◆□□□■□□□
□◆□□□■□□□◆□□
□□■□□□□●

視察してきました

円滑な議会運営 を目指して!

～木更津市・茂原市議会を視察～

日程：平成19年1月25日、26日
視察先：千葉県木更津市議会、茂原市議会
視察者：議長、議会運営委員会委員7名
事務局4名
目的：議会運営全般（日程・議案審議等）
会派、政務調査費

木更津市議会は、平成18年6月より7回にわたり、議会運営委員会にて議会改革を検討し、効率的な議会運営を目指しています。

その結果、19年の6月定例会から、一般質問は、これまでの発言時間を90分から60分へ、質問回数を3回から回数制限のない一問一答方式を採用することに決めています。また、一般質問は2日目からとし、質問者の質問日時がはっきりする日程に改めるなど、いくつかの改革に取り組んでいます。

本会議には、部長のほか、次長も出席し、的確な答弁ができるよう配慮されています。

茂原市議会は、定例会1ヵ月前に議会運営委員会を開き、会期の日程を決定しています。予算・決算についての本会議における質疑は、大綱的な質問のみとし、一般会計は特別委員会を設置し、特別会計は各常任委員会へ付託しています。特に、決算については、閉会中の継続審査とし、11月に審査を行い、12月定例会にて議決しています。

議案質疑は通告制を採用し、質問回数は3回までとしています。また、一般質問は質問時間を45分（答弁を含まず）以内とし、質問回数を3回までとしています。

両市議会とも、円滑なる議会運営を図るために、さまざまな取り組みを実施しています。当市議会においても、議員各位の協力を得ながら、円滑なる議会運営ができるよう心がけてまいります。



多岐に渡って質問しました

全43議案を審議しました

構成は臨時号に載っています

質問者本人が要約しています

閉会中も審議しました

大綱質疑

議案審議

委員会報告

一般質問

閉会中の審議